

NEW 紅葉の香嵐渓や奥浜名の古刹をめぐる

大井川鐵道で南アルプスの山懐へ
日本平ホテルから雄大な富士の絶景

出発日	出発地	3人1室	2人1室	1人1室
11月21・28日	東京発	135,000円	139,000円	159,000円
	大阪発	133,000円	137,000円	157,000円

※東京・大阪の共同募集コースです。添乗員は初日三河安城駅から最終日静岡駅まで同行します。 ※利用バス会社：浜松バス、遠州鉄道、大鉄観光バスのいずれか ※部屋タイプ：洋室 ※名古屋発着、現地合流についてはP59をご参照下さい。 ※写真は全てイメージです。 ※大井川鐵道・本線では、11月21日発はSL（蒸気機関車）、11月28日発はEL（電気機関車）が牽引します。



奥大井湖上駅

行程 → バス → 航空機 … 徒歩 = 列車 ~ 船 ++ その他

東京 (8:50~10:20発) = 品川 = 新横浜 = 新大阪 (9:50~11:20発) = 京都 = 三河安城	新大阪 (9:50~11:20発) = 京都 = 名古屋 = 三河安城
→ 香嵐渓 (東海道一の紅葉名所、巴川沿いに約4000本のモミジの彩り) → 夕刻: オークラクトシティ浜松泊 (季節の会席料理夕食)	
午前: 宿 → 奥浜名湖・龍潭寺 (井伊家の菩提寺、小振遠州作の池泉露筋式庭園) → 方広寺 (臨濟宗の大本山、紅葉に包まれる重文の御藍) → 森・小園神社 (遠州園一宮、宮川沿いの紅葉) → 午後: 日本平ホテル泊 (雄大な富士を眺められる日本平ツイン利用、フランス料理フルコースディナー)	
午前: 宿 → 新金谷 = 大井川鐵道・本線 (SLまたはELに乗り) = 千頭 = 南アルプスあぶとライン = 接叡峡温泉 → (眼下に奥大井湖上駅の眺め) → 金谷 → 静岡 = 新横浜 = 品川 = 東京 (18:30~20:00着)	静岡 = 名古屋 = 京都 = 新大阪 (19:30~20:30着)



日本平ホテル



日本平ホテルからは三保松原、駿河湾、そして富士の雄大な絶景を楽しめます。45㎡で広めのお部屋、大きな窓とバルコニー付きの日本平ツインからはその眺めを独り占めです。夕方4時頃に到着、翌朝は10時過ぎの出発となり、約18時間滞在します。



日本平山頂に建つホテル



フルコースディナーの一例



お部屋バルコニーからの眺め

NEW おいしさがギュッと詰まった秋の新潟、美食を通して知る歴史や文化の旅

うまさぎっしり新潟ガストロノミー
秋色の風景と満喫グルメ旅

出発日	出発地	3人1室	2人1室	1人1室
11月2・7日	東京発	133,000円	135,000円	142,000円
	大阪発	146,000円	148,000円	155,000円

※東京・大阪との共同募集コースです。添乗員は初日新潟空港または新潟駅から最終日新潟駅または新潟空港まで同行します。 ※利用バス会社：新潟交通または昭和観光または新潟中央観光バス ※部屋タイプ 1泊目：洋室 2泊目：洋室または和洋室 ※現地合流についてはP59をご参照下さい。 ※写真は全てイメージです。 ※当日の仕入れ状況によりメニューが変更になる場合がございます。

行程 → バス → 航空機 … 徒歩 = 列車 ~ 船 ++ その他

東京 (10:00~11:00発) = 大宮 = 新潟 伊丹空港 (10:00~11:00発) → 新潟空港 → 新潟	
→ 新潟すし三昧「極み」昼食→弥彦公園 (朱色の銀月橋と紅葉が織りなす景色) → 彌彦神社 (神秘的な雰囲気のある古社参り) → 弥彦山ロープウェイ (空中より眼下に紅葉、新潟平野、日本海を一望) → 夕刻: ホテル日航新潟泊 (夕食は市内料亭にてノドグロや南蛮エビなどを使った郷土料理を)	
午前: 宿 → 今代司 (酒蔵見学と試飲) → 瓢湖 (コハクチョウ日本の飛来地) → 阿賀野川ライン舟下り (日本百景紅葉に彩られる奥阿賀の渓谷美) → 皇室へ献上されている地元五泉産の里芋「帛乙女」を使った料理ほか和食 → 新発田市・市島邸 (紅葉が彩る水池を配した8000余坪の広大な回遊式庭園) → 夕刻: ロイヤル 胎内パークホテル泊 (静かで美しい森と湖に面したお洒落な温泉リゾートで寛ぎのひととき、洋コース夕食)	
フラワーパークなどホテル周辺の観光をお楽しみ下さい。希望者は巨木が点在するハイキングコース (約60分)へご案内、10:30頃出発 → 村上 (県内最古の城下町、鮭文化の奥深さを知るイヨボヤ会館、伝統的な町屋を散策、江戸時代から続く老舗料亭で伝統的な鮭コース料理を) → 岩船湾鮮魚センター → 新潟 = 大宮 = 東京 (18:30~19:30着) 新潟 → 新潟空港 → 伊丹空港 (19:30~20:30着)	



新潟すし三昧「極み」



村上 伝統的鮭料理



里芋「帛乙女」を使った料理



弥彦公園の紅葉

新潟は北前船の主要な寄港地であり、幕末には横浜、神戸などともに開港五港のひとつであり、国内外から質の高い文化の流入とともに食文化が発展してきました。この土地に内包された歴史や文化を尊重し、表現し、昇華させた料理を楽しむ旅。